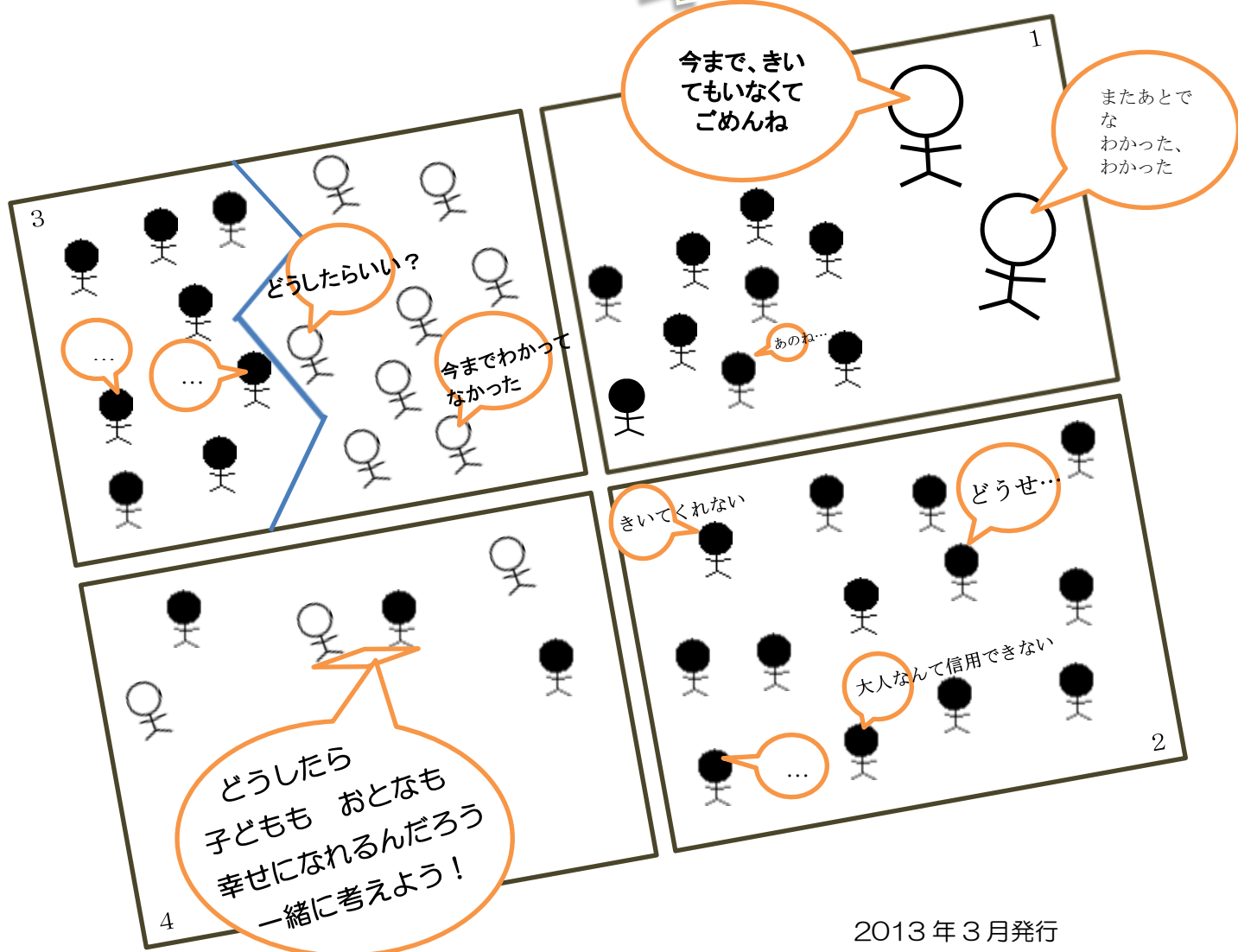


子どもの権利条例が 子どもたちを 幸せにする！



2013年3月発行

【事務局】〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1

特定非営利活動法人津子どもNPOセンター内

TEL.059-231-0012 FAX.059-231-0013

E-mail : kenri@tsunoko.net

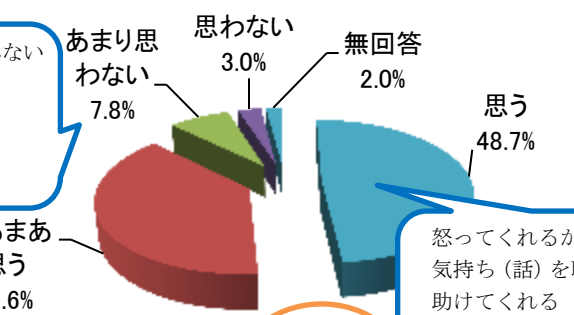
わたしたちのまち 津市に『子どもの権利条例』をつくろう！！

きいて！ みて！ うけとめて！

21,053人

の子ども達の声

Q2 家族や先生や友達から、自分が大切にされていると思いますか？



気持ち(話)を聞いてくれない
ごはんをくれない
自分がダメだから
自分が悪いから
存在価値がない

怒ってくれるから
気持ち(話)を聞いてくれる
助けてくれる
ごはんを作ってくれる
自分と向き合ってくれる

自己肯定

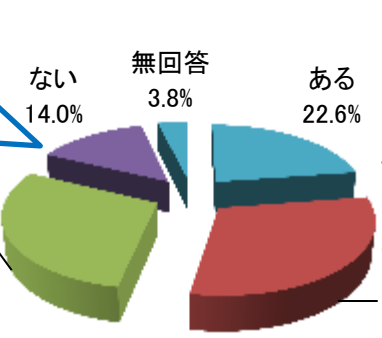
- ・自分に自信のある人は自分のことが好きである
- ・自分のことが好きであっても自信があるとは限らない
- ・自分のことが好きなほど自信が持てない傾向が強い
- ・自分のことが嫌いなほど自信が持てない傾向が強い
- ・自分のことが好きとと思っている人はまわりから大切にされていると感じている
- ・自分のことが好きでないとと思っている人は、まわりからも大切にされていないと感じている
- ・年齢が上がるにつれ、他者からの比較・評価で追い打ちを掛けられ、自己肯定感は下がっていく傾向にある

自分は周りから大切にされていると思うか？

- ・自分を大切にされていると思う子どもは、自分の気持ちを聞いてくれる人が周りにいる(全年令層)
- ・自分を大切にされていると思わない子どもの7割が、自分の気持ちを聞いてくれる人がいない(高校生)
- ・大切にされていると思わない子どもが自分のことを嫌い(全年令層、特に中学生で顕著)

生きたいから
勉強ができるから
イケメン・カッコイイから
ポジティブだから
自信がないとこの先ダメだから
家族がいるから
心の中にがんばる気持ちが入っているから

Q5 自分に自信がありますか？

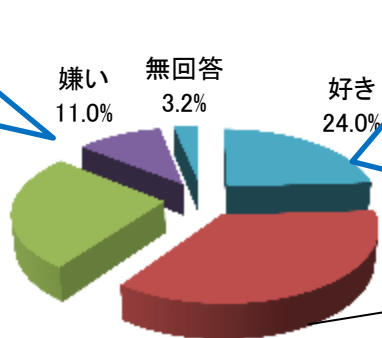


弱虫だから
暗い性格だから
スポーツができないから
外見が悪いから
アホ・バカだから
ネガティブだから
死にたいと思っているから

居場所・意見表明(どうしたらいいの?)

- ・約9割の子どもが、安心できる居場所があると答えている。しかし、その場所が「一人になれる所」をあげており、そこで、「ホッ」としたり、「イライラ」を静めたりしているようだ。また、孤立がすすみ、居場所がないだけでなく周りを敵と見なさざるを得ないところまで追い込まれている子どもたちもいる。
- ・自分が意見表明をすることにより、他者との関係が崩れてしまわないかと心配している様子がある。また、その経験が積み重なることによって、無気力・無関心に陥ってしまっている子どもたちもいる。

Q4 自分のことが好きですか？

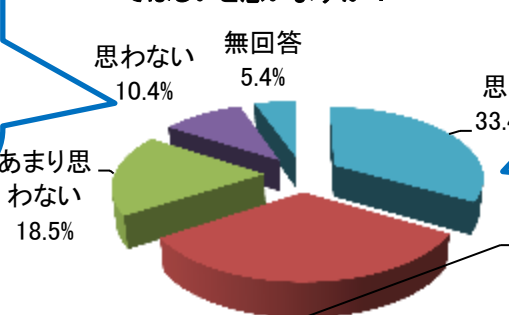


勉強ができないから
きもいから
スポーツできないから
かおがへんだから
性格が悪いから
ネガティブだから

自分自身が好きだから
性格がいいから
がんばっているから
自信があるから
大人の大切なことからものだから
かしこいから
お母さんががんばって産んでくれたから

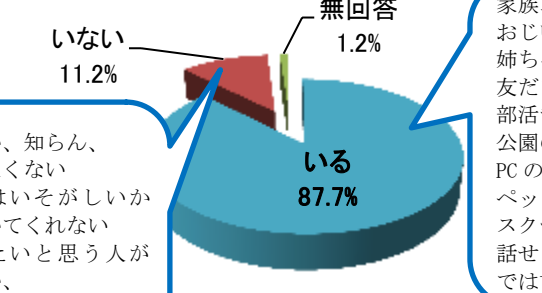
別に尊重して欲しくないから
自分で決めたことがない
意見がない、めんどくさい
意見があわなかったらいや
わたしのせいで苦しむから
なーんかどうでもいい
意見をすぐ消されるから
自分に自信がないから
どうでもいいから
自分は自分他人は他人
主張したって通らない

Q7 自分で決めたいことや、意見を、尊重してほしいと思いますか？



～を買ってほしい
～を連れて行ってほしい
おこづかい、習い事
テレビの時間
服装
遊びのルール
部活、進路

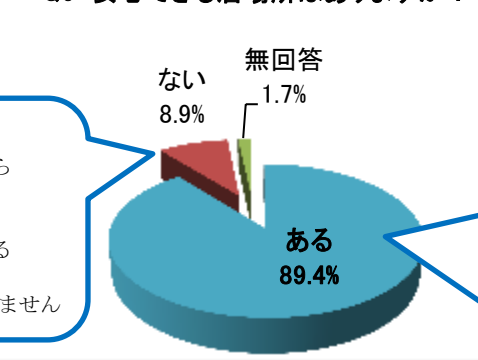
Q1 自分の気持ちを聞いてくれる人がいますか？



いない、知らん、話したくない
家族はいそがしいから
きいてくれない
話したいと思う人がいない、聞いてほしいと思わない

家族、親、おばあちゃん、おじいちゃん、姉ちゃん、いとこ
友だち、クラスメイト、部活チームメイト、先輩、公園のおっちゃん
PCの友達、LINE、ペット、猫、スクールカウンセラー、話せる人はいるけど本音では言わない

Q6 安心できる居場所はありますか？



わかりません
家でも学校でも一人だから
どこも危険
ここは戦場だ
どこにいてもイライラする
安心できる場所はなく
友達を信じたこともありません

自分の家、祖父母の家
友達の家、学校、教室
家族がいる場所
みんながいる場所
親友といっしょ
彼女のとなり
ダンスの仲間
ふとんの中、ベッド
トイレ、押入、自分のへや
誰もいない自宅
一人になれる所
ペットの横

津市子どもの権利条例づくり推進市民委員会(津の子ネット)は、すべての命を認め合い、育つ喜びにあふれるまちをつくるため、津市子どもの権利条例づくりに、取り組んでいます。

子どもの最善の利益を保障する「子どもの権利条例」を、子ども主体でつくっていきたいという思いから、当事者である子どもの気持ちや思いを一人でも多く集めていくために、アンケートに答えていただきました。結果として、21,053人の回答を得ることができました。

子どもたちの声を、子どもの権利条例づくりに、ぜひ活かしたいと思えます。アンケートにご協力いただいた子どもたちを始め、すべての方々に、感謝申し上げます。

中学生の本音

～子ども委員会みんなの訴え～

うしろめたさ、言いたいことが
言いたくないことがある。

そして、子どもの言葉を聞いて
ほしい。大人の言葉が「本当の
話」じゃないから。

彩華



うごめたく

言いたいことが

子どもにも権利が認められず
大人だけの社会では無理
言うことができていないと思う

子どもにだけ不満や意見は
それを表現するのだから
権利差別があるのはおかしい

福直希



私が大切にしたい権利は

第32条「大人の心に備わらないで」

理由 (32条の趣意)

親が過度に「何が」子どもが
働くのは、しめたかなんげん
業に働かせないで欲しいと思う。
大人が働いて、子どもを育てては
ならないのに、子どもを働かせ
はせると言っている。大人は「大人だと思
い」だの権利が大人に言えること。
大人も子どもと同じで働く権利を
使えるからです!!!

山口



声にしていい言葉。

心にしまっておくべき言葉

感じた事を本当の言葉に
するのは私達に
たくさされています。
だからこそ、全ての思いを
声にしていいとは
限りません。
心にしまっておくべき
言葉もあります。 中村真緒

中村真緒

第16条「保護者、教育者による
おそれ

私は、上の人が決めた事は
絶対なのかな?ときどき
それは、古くから決まっていた
と思います。
いやな事は、いやだとは、わり
とよく言えます。
でも、自分の中で大人になる
大切。世の中は大切だと
思います。 中村し

中村し

情報は、みんなに伝えてほしい!!
(第19条)

ケータイを持つ、インターネットに接続
された子どもたち。ケータイ、
インターネット、情報収集の権利
があると思う。でも、利用する
には情報を知りたい。自分
自身も周囲の情報を知りたい
と思う。でも、ケータイ、ネット
で、情報の不安を感じます。

石田 健生

命を大切に

してほしい。

僕は、この地球に生かされた
一つの命だから。
それに、生かされた命も
生かす責任がある。

橋本



私は 第16条 秘密を言われたくない
を大事にしたいと考えています。
大人一人づつ知れたくないと思っ
ているから、簡単に伝えたはらな
いと思います。

ス成

第9条 父兄が未成年の子どもに課せらるる
義務

「父兄が未成年の子どもに課せらるる
義務」は、子どもを育てる責任がある
から、子どもを育てる責任がある
から、子どもを育てる責任がある

金場



子ども会委員の中心で活動を続けました。
1日 2日でしたけど、楽しかったです。
お世話になりました。
ありがとうございました。

中学校の生活とは、一言い「やるべき事」
をやるだけ。大人は、わ。かに教えること
がある。学校に行かないと、お。ま。ま。
大人は、お。ま。ま。と。お。ま。ま。と。お。ま。ま。
お。ま。ま。と。お。ま。ま。と。お。ま。ま。
お。ま。ま。と。お。ま。ま。と。お。ま。ま。

三浦

※ 第0条は、子どもの権利条約の
条文のことです